

住み慣れた地域で 安心していきいきと暮らす

市では、平成30年度からの3年間を計画期間とした「総社市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画」を策定しています。第7期は、医療・介護・介護予防・住まい・生活支援が包括的に確保される体制を深化・推進します。
問い合わせ 長寿介護課介護保険係 (☎②8369)

総社市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画 素案

- ### 重点的取り組み
- 1 地域を要とした見守りの強化と介護予防の推進**
 - ・そうじゃみんなで見守るネットワークの強化
 - ・いきいき百歳体操、かみかみ百歳体操の普及
 - 2 認知症になっても暮らしやすいまちづくり**
 - ・認知症初期集中支援チームの充実
 - ・交流や相談ができる認知症カフェの普及、充実
 - 3 医療と介護の連携強化**
 - ・医療、介護関係者の多職種情報連携ツール「ケアキャピネット『きびきび』」の利用促進
 - ・地域の医療、介護関係者からの相談窓口を設置
 - 4 介護保険制度の維持**
 - ・地域包括支援センターの機能の充実と強化
 - ・地域ケア会議の推進

この計画案に関する意見を募集しています。意見の提出方法など、募集に関する詳細は16ページに掲載。

あなたの地区の地域包括支援センター

高齢者が住み慣れたまちで安心して暮らしていけるよう、介護・福祉・健康・医療など、さまざまな面から高齢者やその家族を支える機関として、地域包括支援センターを設置しています。どこに相談したらよいか分からない心配ごとや悩みは、地区の地域包括支援センターに気軽に相談してください。

問い合わせ 長寿介護課地域ケア推進係 (☎②8373)



センター名	電話番号	センター所在地
1 中央部北	☎ 94-5577	中央二丁目 2-17
2 中央部南	☎ 92-7888	清音三因 1074-1 (グリーンアンドリバーホーム内)
3 東部南	☎ 90-0201	地頭片山 150 (山手福祉センター内)
4 東部北	☎ 92-6987	久米 48-1 (三清荘内)
5 西部	☎ 96-9066	秦 330-1 (結いのさと愛家里内)
6 北部	☎ 99-1943	日羽 436-28 (さくばらホームの南)

クローズUP 市政

福祉

会長に流王雄太さんが就任 さらなる雇用の促進と生活の質の向上を目指す

障がい者千五百人雇用委員会が発足

問い合わせ 福祉課障がい福祉係 (☎②8269)

平成23年4月に開始した、障がいがある人の就労1000人を目標とする「障がい者千人雇用」事業。約6年をかけて、昨年5月に目標であった就労1000

0人を達成しました。そして、次の目標を1500人に設定したことを受け、障がい者千五百人雇用委員会が発足。11月20日に1回目の委員会が市保健センターで開催されました。

委員は、障がい者関係団体をはじめ、特別支援学校、ハローワーク、市内外の企業などの代表者ら15人で構成。障がい者の雇用促進と就労の安定化を目指し、必要な助言・提言を行います。

会長には、岡山大学病院精神科医師で自身も障がい者の流王雄太さんが就任しました。委員会では、事務局の市福祉課が千人雇用事業の経過を報告。意見交換では委



シンポジウムで赤米の継承活動について協議

赤米神事が残る3市町

未来遺産への登録を目指す 赤米サミット 2017

総社市、長崎県対馬市、鹿児島県南種子町に伝わる赤米神事について理解を深め、次世代に継承する機会を盛り上げようと、11月25日、赤米サミット2017が南種子町で開かれました。

サミットには3市町の赤米保存会メンバーと3市町で赤米大使を務める歌手の相川七瀬さんらが参加。3市町に残る赤米神事を後世につないでいくために、日本ユネスコ協会連盟の「プロジェクト未来遺産」への登録を目指す共同宣言が発表され、南種子町の宝満神社赤米お田植え祭り保存会の上浦正義会長が、「古来より連綿と継承してきた赤米文化を誇りに思い、未来をつくる子どもたちに伝える」と宣言しました。

未来遺産は、長い歴史と伝統のもとで培われた地域の文化と自然を、100年後に伝える市民活動を毎年公募・選定する取り組みです。

問い合わせ 文化課文化財係 (☎②8363)